

TOPICS

「排水機場維持管理者への据付現場説明会」

2019年11月20日

北海道開発局札幌開発建設部殿 発注

江別太排水機場ポンプ機械設備製作据付工事

地域排水機場の維持管理を担う「江別河川防災環境事業協同組合様」へ、ポンプ設備の据付状況の説明会を弊社 CSR 活動、地域貢献の一環として開催しました。

排水機場は地域を浸水被害から守るために設置されており、災害に備え維持管理が大変重要です。維持管理作業は、完成した排水機場の機器のメンテナンスが主であり、工事途中の状況を見る機会がないため安全パトロールを兼ねた研修会の依頼をうけ、この度実現しました。

今回は、ポンプやその他機器の基礎を製作する状況を視察していただきました。

排水能力や据付手順、安全管理についての質問があり、弊社、巻野現場代理人が説明をしました。

参加者

江別河川防災環境事業協同組合 24名

江別市建設部土木事務所 3名

北海道開発局札幌開発建設部施設整備課 2名

本件については、北海道建設新聞社の取材もあり記事が掲載されました。



●説明会の様子

排水機場の概要学ぶ
江別河川防災環境事業協同組合 安全パトと研修会

江別河川防災環境事業協同組合は20日、安全パトロールを兼ねた研修会を開催し、整備中の排水機場の概要などを学んだ。小原敏嗣理事長をはじめ、約25人と、江別市から建設部土木事務所の田中浩一が参加した。午前には北海道電力の石狩湾新発電所を訪れ、同発電所の藤田浩美所長から発電機などを聞いた。午後は札幌開発建設部の江別臨海農業水利事業江別太排水機場ポンプ機械設備製作所へ、同設備製作所長の巻野尚生主任が施設概要や作業工程を説明した。協同組合が維持管理を担う排水機場となるため、会員は興味深く場内を見て回り、ポンプの構造や排水能力などを質問していた。

排水機場を見学する一行

●北海道建設新聞 2019年11月22日掲載記事